



# のもとしみ 通信

2017年7月  
No.42

赤ちゃんからお年寄りまで  
いきいきと暮らせるまちに



E-mail [iki-iki-nonohana@nifty.com](mailto:iki-iki-nonohana@nifty.com)

※HPアドレスが変更になりました。

<http://nomotoyoshimi.in.coocan.jp>

事務所 〒252-0171 相模原市緑区与瀬1309-1  
TEL: 042-682-6301 FAX: 042-682-6302

## 市民の命と財産を守ることを第一に

九州北部の豪雨は、甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。異常気象による局所的な豪雨は、どこで起きるかわかりません。本市でも、昨年8月の台風9号で国道129号が冠水し、激しい水流に流された女性が犠牲に。タイムラインの確認や現実  
に即した訓練を行うなど、減災に努めるとともに、情報を取集し、状況を冷静に判断し、速やかに行動に移すという心構えも重要ではないでしょうか。

先日、藤沢市で介護事業所を運営する「株式会社あおいけあ」の加藤忠相氏（NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」に出演、映画「ケアン」のモデル事業所）のお話を聞きました。「お年寄りは、世話になる存在ではなく、社会的資源。地域の中で、質の高い生活を送れるよう支えきるのが介護の仕事。あおいけあでは、マニュアルはなく、考えることが仕事。今、何をすべきか考えて働こう、と。加藤に聞いていいと言われると思うことはやっていい、と。」また、「介護のプロとは、環境や心理状態をよくすること。困らないよう支えること。お茶出しや食事

提供などの業務ではなく、どうしたらお茶を入れられるかを考えるのが仕事」とも。就職希望者が多く、介護人材不足とは無縁なのだそうです。

相模原市は大きな組織でもあり、マニュアルは必要ですが、それに頼り過ぎて、「自ら考え、判断すること」をやめれば、組織は停滞し、大切なことを見失い、危険回避や新たな課題を乗り越えることもできず、発展も期待できません。本市の求める職員像は、「果敢に挑戦する職員」。市民の命と財産を守ることを第一に、職員がプロとして生き生きと働ける環境が整うよう、力を尽くします。

相模原市議会議員 野元好美

### 29年度 のもとの仕事

建設委員会(市議11年目にして初!)  
防災特別委員会(引き続き)  
大都市制度に関する特別委員会  
大山丹沢山系鳥獣等問題市町村議員連絡協議会理事  
颯爽の会 幹事長



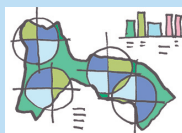
### 9月議会の日程

8月25日(金)	本会議(提案説明)
9月 4日(月)～ 5日(火)	本会議(代表質問) 決算特別委員会
7日(木)～13日(水)	各常任委員会
22日(金)	決算特別委員会
26日(火)～28日(木)	本会議(一般質問)
29日(金)	本会議

\*のもとしみは、一般質問の予定です。  
\*インターネットでも議会中継、録画をご覧いただけます。  
<http://www.sagamihara-shigikai.jp/doc/2017051800044/>

### 第33回 のもとよしみの議会報告会 相模原市のこれまでとこれから

合併して10年が過ぎ、政令市になって8年目。1市4町の歩みと新市誕生、政令市移行とこれまでを振り返り、これから将来にむけたまちづくりについて、一緒に考えてみませんか。お待ちしております!



日時: 8月6日(日) 10時～12時  
場所: 相模湖公民館 2階会議室  
日時: 8月6日(日) 14時～16時  
場所: 城山公民館 4階研修室

